

## 2B-5) めまいの治療における dynamic CT の有用性

長堀 毅・西嘉美知春 (富山医科薬科大学)  
 遠藤 俊郎・高久 晃 (脳神経外科)  
 野村 耕章 (社会保険高岡病院)  
 (脳神経外科)

めまい症例の約80%では dynamic CT (dCT) 上両側後大脳動脈 (PCA) 領域の time to peak (TP), time of appearance (TA) の延長が観察され、この所見がめまいを訴える症例に特徴的であることを報告してきた。今回は、最近の7症例において行った治療前後の dCT を検討し、その変化と治療上の意義について報告する。症例は男性2例、女性5例 (52歳から78歳、平均62歳) で、脳梗塞2例、椎骨脳底動脈循環不全 (VBI) 4例、末梢性めまい1例である。VBI の1例には、椎骨動脈起始部走行矯正術と星状神経節切除を行った。dCT では、治療前には全例で両側 PCA 領域の TP, TA の延長が観察され、症状消失とともに改善した。中大脳動脈領域と比較すると、治療前の PCA 領域の TP は平均1.7秒遅延していたのに対し、治療後には平均0.9秒の遅延に改善した。TA も治療前の平均0.4秒の遅延が平均0.1秒に改善した。本法は、めまいの治療効果の客観的判定にも有用と考えられた。

## 2B-6) MRSA 感染症に対する補中益気湯、十全大補湯の投与経験について

北原 正和・小林 紳一 (石巻赤十字病院)  
 藤原 和則 (脳神経外科)  
 万宇 壽楠 (同 内科)

当科における MRSA 感染症5例に対し補中益気湯、十全大補湯の投与を試みた。症例はいずれも植物状態あるいは介護を要する状態で、原疾患はくも膜下出血が3例、脳内出血が1例、悪性グリオーマが1例である。全例喀痰より MRSA が検出され、内2例では褥創からも検出された。全例各種抗生剤に抵抗性であったが、補中益気湯を2例に、十全大補湯を3例に単独で投与することにより、4例で MRSA が消失し、1例で菌数の減少をみた。補中益気湯、十全大補湯はマクロファージの活性化や、抗補体活性、リンパ球幼若化活性等が報告されており、生体の免疫機構活性化作用が、難治性の MRSA 感染症に有用であったものと考えた。

## 2B-7) 髄膜炎を併発し脳膿瘍を疑わせる所見を示した後頭葉 AVM の治療経験

切替 典宏・岩淵 崇  
 西澤 義彦・齊木 巖 (岩手医科大学)  
 金谷 春之 (脳神経外科)

AVM と頭蓋内感染症の合併例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。症例は40歳男性、1991.10.5頭痛と眩暈にて発症。CT 上脳室突破を伴う右後頭葉皮質下出血、脳血管写上 rt. PCA を main feeder とし、上矢状静脈洞へ draining される AVM を認め待機手術の方針で経過観察していたが、10.27より39℃台の熱発出現し、11.1の腰椎穿刺で cell: 2336/3 N: 1840 L: 496 と細菌性髄膜炎の所見を得たためグロブリン製剤の髄注を含む化学療法を行ったが効果的ではなかった。11.5の増強 CT で血腫に一致した圧排所見を伴う著明な ringed enhanced lesion を認め、更に perifocal edema が増悪する傾向を示した。髄膜炎が膿瘍を惹起したものと考え、11.19穿頭ドレナージを施行したが pus は検出されず血腫のみであった。この手術を境に患者の全身状態は改善し、12.25 AVM 全摘出術を行った。術後経過は順調で左下1/4半盲を残して1992.1.20 徒歩自宅退院した。

## 2B-8) MRSA 肺炎に対するバンコマイシンによる口腔内洗浄の有効性について

木戸口 順・七海 敏之  
 黒田 清司・齊木 巖 (岩手医科大学)  
 金谷 春之 (脳神経外科)

MRSA 感染症は現在最も重要な難治性感染症の1つと言われている。MRSA 感染が重篤な病態をもたらすのは、敗血症や肺炎、術後腸炎などの深部感染によるためである。高齢者や寝た切り患者は、全身的な免疫能が低下しており、難治性で重篤な深部感染に罹り易い恐れがある。我々は、当科入院中に MRSA 肺炎と診断された5例について、全身への抗生物質の投与に加え、バンコマイシンによる口腔内洗浄により、数日して、喀痰からの MRSA が消失し、肺炎も軽快し、その有効性について、確認できたので報告する。

MRSA 肺炎患者に対して、感受性が比較的高い MINO, FOM, IPM などでは臨床的に明らかな効果は期待できない。そこで、MRSA 感染症に唯一単剤で有効なバンコマイシンを用いて、MRSA が定着しやすく、菌の供給基地となる口腔および咽頭の洗浄を行った。洗浄方法は、イソジンガーグルと生食水で溶いたバンコマイシン